

組	
番 名 前	

① 東南アジアと日本 ★東南アジアの国々と日本の結びつきがわかります。

(1) 資料1のa～c

は、日本、アメリカ、シンガポールのいずれかである。

a～cにあてはまる国名をそれぞれ書きなさい。

(2) 資料1のA～D

の国のうち、bの国からの輸入額が最も多い国はどこ

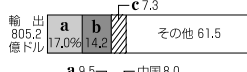
か、その国の記号を書きなさい。

(3) 資料1のA～Dの国々をはじめ、東南アジアの10か国が加盟している、経済や政治分野での相互援助を目的とした組織の略称を書きなさい。➡東南アジア諸国連合という。

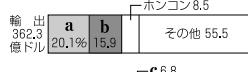
(4) 資料2を見ると、日本企業がアジアの国々に進出していることがわかる。2005年のマレーシアの日本企業のうち、1986年以降に進出した企業の数、1985年以前に進出した企業の数、の約何倍か。小数第2位を四捨五入して書きなさい。➡ $(771-232) \div 232 = 2.32$ …

資料1 東南アジアの国々の貿易相手国

A タイ



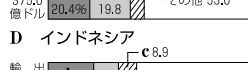
B フィリピン



C マレーシア

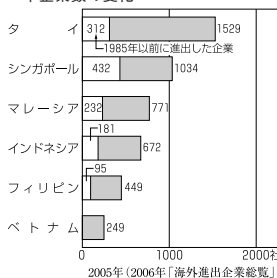


D インドネシア



2003年(2005/06年「世界国勢国会」)

資料2 東南アジアに進出している日本企業数の変化



② スキルUP 作図&文章記述にチャレンジ

★マレーシアの産業が、どのように変化してきたかがわかり、作図ができます。

(1) 資料1は、ある産物の国別生産量の割合を示している。1975年当時からマレーシアの重要な輸出品であったこの産物を、

資料2の品目から選んで書きなさい。

(2) 資料2を見て、1975年当時のマレーシアの輸出はどのような傾向にあったか、簡潔に書きなさい。➡機械類が少ない。

(3) 資料3は、2001年のマレーシアの輸出上位5品目を示している。これをもとに、解答らの帯グラフを完成させなさい。➡目もりは2%きざみ。

(4) 資料2と資料3を比べたとき、マレーシアの輸出の特色はどのように変化しているか、簡潔に書きなさい。➡工業の発達にともなう変化。

資料1 ある産物の国別生産量割合



資料2 1975年のマレーシアの輸出品目



資料3

輸出品	割合(%)
機械類	60
液化天然ガス	4
原油	3
パーム油	3
衣類	2

2001年(2005/06年「世界国勢国会」)

① <10点×6> /60

a	アメリカ
(1) b	日本
c	シンガポール
(2)	A
(3)	ASEAN
(4)	約2.3倍

採点基準 (3)「アセアン」も可。

② <10点×4> /40

(1)	パーム油
(2)	(例)輸出品は農産物や鉱産物を中心だった。
(3)	液化天然ガス4 原油3 パーム油3 機械類 60% 衣類2 その他28
(4)	(例)輸出品が工業製品中心に変化している。



- ① (1) 輸出相手国はアメリカが多く、輸入相手国では日本が多い。日本は東南アジアの国々にとっては重要な貿易相手国である。
- (2) タイのbの国からの輸入額は758.1(億ドル)×0.241=約183(億ドル)、マレーシアは約143億ドル、フィリピンは約77億ドル、インドネシアは約42億ドルである。
- (3) 東南アジア諸国の経済発展と政治・社会・文化の各分野での協力が目的である。
- (4) 1986年以降に進出した企業数は、771-232=539となる。

- ② (1) パーム油は、マーガリンなどの食用のほか、石けんやろうそくの原料となる。
- (2) 20数年前のマレーシアは、特定の鉱産資源や農産物にたよる、モノカルチャーの経済であった。

- これもマル ② (2) (例)輸出の中心となっていたのは、原料や燃料となる資源であった。
- これもマル ② (4) (例)輸出の中心が、資源から機械類(などの工業製品)に変わった。

作図をマスター!

答えはおもて面にあるよ!

しっかりCheck! の答え

- ①カリマンタン島
- ②マレー語
- ③焼畑農業(焼畑)
- ④IC
- ⑤植民地

第一次世界大戦当時の1914年に東南アジア諸国を植民地にしていた国を、右の地図に模様で示そうとしている。マレーシアとベトナムを植民地としていた国を、模様にしたがって、地図にそれぞれ示しなさい。(小さな島には書かなくてよい。)

